

実施記載例（フォークリフト作業）

対象職場 *1 (鋳物製造工程等)を記入)	1, 2, 3の実施担当者の実施日	4, 5, 6の実施担当者の実施日	7, 8の実施担当者の実施日
運搬工程	○○○○ H19年○月1日	△△△△ H19年△月1日	◇◇◇◇ H19年◇月1日
社長	安全衛生 委員長	製造部長	課長
①	①	①	①

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+ 「～になる」と記述します) *2	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り *3		5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスク の見積り			7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			重 篤 度	可 能 性		頻 度	リ ス ク	対 策 実 施 日	次 年 度 検 討 事 項		
フォークリフト 運搬作業	①フォークリフトを旋回させるとき、急ハンドルを切ったのでフォークリフトが横転し、シートベルトをしていなかった作業者が投げ出される。	作業前の手順書の確認をしている。	10	2	2	IV (14)	1	1	II (8)	H19 Y/18	機種変更のための予算を計上する。
同上	②フォークリフトをバックで運転中、急激に後退したため、後方の積荷に激突して作業者が投げ出される。	作業前の手順書の確認をしている。	10	2	2	IV (14)	1	1	IV (12)	H19 X/25	運転手の定期的な社内技能講習を行う。
同上	③フォークリフトをバックで運転中、後方確認が不十分であったため、後方の作業者に激突する。	大きいバックミラーに変更している。	10	4	2	IV (16)	3	2	II (6)	H19 X/1	
同上	④搬出中の積荷の位置が高く、リフト前方が見えにくいため、出口へ前進したときに台車で荷物を運搬中の作業者に激突する。	マストの高さを制限(2m)している	10	2	2	IV (14)	6	1	II (8)	H19 Y/1	出口にカーブミラーの設置を検討する。
同上	⑤フォークリフトを運転中、急ブレーキを踏んだため、搬出中の積荷が傾いて製品が落ちてきて、運転者に飛来する。	作業前の手順書の確認をしている。	6	2	2	III (10)	6	1	II (8)	H19 Y/20	運転手の定期的な社内技能講習を行う。
同上	⑥フォークリフトを運転中、積荷の昇降に気を取られていたので、後方の作業者に気付くのが遅れて激突する。	作業前の手順書の確認をしている。	10	4	2	IV (16)	6	2	III (9)	H19 Z/1	運転手の定期的な社内技能講習を行う。
同上	⑦フォークリフトをバックで旋回させるとき、急ハンドルを切ったので、搬出中の積荷が右に傾いて製品が飛び出し、台車で荷物を運搬中の作業者に飛来する。	作業前の手順書の確認をしている。	6	2	2	III (10)	6	1	II (8)	H19 X/22	運転手の定期的な社内技能講習を行う。

*1：この一覧表は、職場の工程ごとに作成します。各工程の全ての作業（作業手順）を取り上げ危険性又は有害性の特定から進めます。

*2：災害の過程をわかりやすく表現します。たとえば、危険性又は有害性「～なので、～して」+「～になる」のように記述します。

*3：重篤度、可能性、および頻度は、それぞれ発生のおそれのある労働災害の重篤度、発生可能性、および危険性又は有害性に近づく頻度をいいます。リスク欄ではリスクの点数（リスクポイント）を（ ）内に記入します